

## 令和2年度大阪医科大学医師会総会議事録

大阪医科大学 内科学Ⅳ 講師／書記 石田志門

日時： 令和2年11月9日(月) 18:00~19:00  
場所： 大阪医科大学 学Ⅰ講堂(総合研究棟12階)  
出席： 森脇会長、佐野副理事長、中野副会長、萩森副会長、梶本副会長、  
浮村理事、寺崎理事、樋口評議員、内山評議員、金沢評議員  
新田評議員、根尾評議員、瀧谷会計、田中編集委員、鰐淵会員、  
高須会員、富岡会員、菅澤会員、大須賀会員、上田会員、  
星賀府医理事(敬称略)

議長に中野副会長が選出され、議事が進められた。

議長が、出席21名、委任状268、計289、総会の定足数である会員数530の過半数266を超えているので、総会が成立することを宣言し、開会した。

<会長からの挨拶>

お忙しいところご参集いただきありがとうございます。一昨年6月に会長を拝命して、2回目の総会です。一昨年510名だった会員数が、昨年には520名に、現在は530名に増加しています。

今年は、総会を例年通りの6月には開催できませんでした。Zoomでの会議開催も考えましたが、広い会議室を確保し、短時間で終了する予定です。

### 1. 令和元年度事業報告(森脇会長)

定常的な活動を着々と行っている。

#### 1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が522名(令和元年5月31日現在)であった。4月1日(月)に開催された研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、森脇会長が医師会の役割、活動内容や医賠償保険等医師会入会のメリットを説明し、勧誘を行った。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーも4月6日(土)に例年通り開催された。より多くの研修医に参加してもらうためにバスをチャーターして会場まで送迎したので、研修医20名が参加した。

大阪医科大学医師会の役員は新たに、理事に浮村評議員と元村評議員が就任し、評議員に池田会員(内科学Ⅰ)、山本会員(放射線診断学)、中野副会長(微生物学)、松村会員(小児科学)、奥会員(眼科学)が就任し、書記に石田評議員が就任した。

医師資格証は、日本医師会が発行する医師資格を証明するための電子証明である。数名発行した。

日本医師会生涯研修制度は、医師免許生涯交付のために医師が自己研鑽していることを示す大切な制度である。講習会に参加した際には、大阪府医師会が発行しているチケットを提出して、単位を取得する。チケットを提出する代わりに、医師資格証を提示することで単位取得が可能となってきている。

大阪医科大学医会のホームページの更新も定期的に行った。当医師会についての情報や、大阪医科大学医師会会報第52号と第53号を掲載した。会報はPDFファイルで閲覧できる。

## 2) 大阪医科大学医師会の学術活動

大阪医科大学医師会報を2号発行した。9月15日に発行した第52号では「教育理論をいか実践するか」について座談会を開催し特集として掲載した。3月15日に発行した第53号では「ロボット支援手術」について座談会を開催し特集として掲載した。

学会等助成は、平成30年度に選考した令和元年度分、3学会に計30万円を助成し、6月17日(日)に開催した当医師会総会内で贈呈式を行った。10月に令和2年度分の公募を行い、11月に8学会に助成することを決定した。

高槻市医師会、茨木市医師会、摂津市医師会と大阪医科大学医師会の四医師会で、北摂四医師会医学会を構成している。総会を、当医師会の当番で、6月8日(土)に大阪医科大 P302教室で開催した。特別講演は当医師会森脇会長が「日常診療におけるかゆみ患者への対応:病態から考える適正治療」について講演し、一般演題10題の発表があった。北摂四医師会医学会総会優秀演題賞には、「MRI 検査の騒音に起因した急性音響性難聴の3例」を発表した大阪医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科の鈴木英佑医師並びに「理想的な総胆管結石症治療を目指して」を発表した第一東和会病院内視鏡外科センターの千野佳秀医師が選考された。

北摂四医師会分科会は、休会中の分科会もあるが、活動中の各分科会は研究会を開催した。

北摂四医師会医学会のホームページには、総会の案内や抄録、分科会の開催案内等を掲載しているので、活用願いたい。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、ブロック委員会4回開催され、森脇会長と萩森副会長が積極的に参加した。1月11日(土)に開催した第2ブロック研修会では、森脇会長が「臨床医に必要な薬疹の知識」について講演した。

在阪5大学医学生と語る会が、11月22日(日)に開催され、星賀府医理事、小野医師及び学生4名が参加した。

第1~4ブロック合同懇談会が、2月13日(木)に「感染対策」をテーマに開催され、中野副会長が講師を務めた。

## 3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

日本医師会代議員会は、6月23日(日)に第145回、3月29日(日)に第146回が開催され、日本医師会代議員である米田前会長が出席した。

大阪府代議員会は、6月20日(木)に第314回、3月26日(木)に第315回が開催された。新たに、代議員に浮村評議員と元村評議員が就任し、予備代議員に平松評議員が就任した。大阪医科大学医師会に所属している大阪府医師会各種部会や委員会のメンバーは総会資料の通りで、各委員積極的に参加した。

在阪5大学ならびに2行政医師会役員との懇談会が、11月28日(木)に「医師の働き方改革の進捗状況」をテーマとして開催され、星賀府医理事と浮村理事が参加し、「大阪医科大学における医師の働き方改革の進捗状況」を浮村理事が発表した。

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会が毎月第3金曜日14時から開催されるが、森脇会長が出席しにくい時間帯で出席できず、内容を伝達できず申し訳ない。郡市区等医師会救急医療担当知事連絡協議会が7月29日(月)に開催され、新田評議員が出席した。

女性医師支援シンポジウムが、9月7日(土)に「女性医師の働き方の現状と課題」をテーマに開

催され、佐野副理事長が出席した。女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者、管理者等への講師医会が、2月22日(土)に開催予定で、佐野副理事長が出席予定であったが、開催中止となった。

夜間・休日急病診療所代表者会議が、3月6日(金)に開催され、新田評議員が出席した。

全国医師会勤務医部会連絡協議会総会が、10月26日(土)に、「待ったなしの働き方改革～勤務医の立場から～」をテーマとして山形で開催された。

日本医師会医学生、研修生等をサポートするための会が、大阪大学の担当で、2月29日(土)に開催が予定されていたが、中止となった。

日本医師会大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会が、12月8日(日)に日本医師会で開催され、神崎女性医師支援センター長が出席した。

全国大学医師会連絡協議会総会が、1月26日(日)に東京医科歯科大学で開催された。

大阪医科大学附属病院連携病院長会総会が、11月21日(木)に開催され、森脇会長が出席した。

三島医療圏がん診療ネットワーク協議会が、1月30日(木)に開催され、森脇会長が出席した。

高槻市医師会勤務医総会・研修会が、7月13日(土)に開催され、神経精神医学金沢教授が「ポリファーマシー(多剤処方)について」について講演した。

## 2. 令和2年度事業報告ならびに事業計画(森脇会長)

事業を継続的に進めていく。

### 1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が530名(令和2年10月31日現在)となり、微増している。4月1日(水)に開催された研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、森脇会長が医師会の役割、活動内容や医賠償保険等医師会入会のメリットを説明し、勧誘を行った。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーが4月4日(土)に開催される予定であったが中止となった。昨年度に引き続きバスをチャーターして会場まで送迎する予定だったので、開催中止は残念である。

大阪医科大学医師会の役員は新たに、理事には寺崎評議員と土手評議員が就任し、評議員に金沢会員(神経精神医学)、中平会員(麻酔科学)、津田会員(看護学部)、が就任し、編集委員に池田評議員が就任した。

医師資格証は、日本医師会が発行する医師資格を証明するための電子証明である。佐野副理事長より、日本医師会及び大阪府医師会が発行を促進しているので本医師会としても積極的に促進する必要があるのではないか、との意見があった。医師資格証が役に立たないと思われるのは、普及していないからでもあるので、当医師会としても促進していくこととなった。また、マイナンバーカードについても言及された。今後、健康保険証としての機能が付加され、ヘルスレコードが管理される可能性があるとの意見が、星賀府医理事よりあった。

日本医師会生涯研修制度は、引き続き単位取得願いたい。

大阪医科大学医会のホームページの更新も定期的に行う。当医師会についての情報や、大阪医科大学医師会会報第54号と第55号を掲載する。会報はPDFファイルで閲覧できる。

当医師会における大阪府医師会の会員区分の見直しを行いたい。入会当初の会員区分のままなので、現在の各会員に見合った区分に変更していきたい。また、大阪府医師会のC区分の定義「医師法に基づく研修医、研修及び研究中の会員」を明確にするために、初期研修医とレジデントに限

定したいと、会長より提案があった。佐野副理事長より、基礎系の会員はどの会員区分になるかと質問があった。基礎系の会員の中には診療に従事している医師も多くいるので、診療に従事しない医師をC区分としてはどうかとの意見があり、検討することとなった。

昨年度の総会で承認された通り、総会の出欠及び委任状を書面に加えてインターネットで提出できるようにしたところ、100件の利用があった。来年度も引き続き活用していく。

## 2) 大阪医科大学医師会の学術活動

大阪医科大学医師会報を2号発行する。9月15日に発行した第54号では「新型コロナウイルス接触確認アプリ」について特集として掲載した。3月15日に第55号を発行する。

学会等助成は、令和元年度に選考した令和2年度分、8学会に計75万円を助成し、11月9日(月)に開催した当医師会総会内で贈呈式を行った。過去に助成金が予算の50万円に満たない年もあったので、本学の応援に8件採択させていただいた。10月に令和3年度分の公募を行い、11月10日(火)に選考し、来年度の総会で贈呈式を行う。応募資格を、大阪医科大学の教室または研究グループかつ当医師会員が会長(または会頭)を務めるもの、原則国際規模または全国規模のもの、原則5件以内、と変更したい旨、会長より提案があった。全会一致で承認され、学会等助成取扱要領を改正することとなった。

北摂四医師会医学会総会を、摂津市医師会の当番で、6月16日(土)に摂津市立コミュニティプラザで開催を予定していたが、中止となった。それに伴い、一般演題の募集及び優秀演題賞の選考も中止となった。北摂四医師会医学会役員会は書面審議で行った。

北摂四医師会分科会は、休会中の分科会もあるが、活動中の各分科会は研究会を開催した。

北摂四医師会医学会のホームページには、総会の案内や抄録、分科会の開催案内等を掲載しているので、活用願いたい。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、ブロック委員会3回開催が予定されていたが、第1回は中止となった。1月9日(土)に開催予定だった第2ブロック研修会も中止となった。

在阪5大学医学生と語る会が、1月22日に開催される。

## 3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

日本医師会代議員会は、6月27日(土)に第147回が開催され、6月28日(日)開催予定の第148回は中止となった。日本医師会代議員に森協会長が就任した。

大阪府代議員会は、5月28日(木)に第316回、6月25日(木)に第317回が開催された。新たに、代議員に寺崎評議員と土手評議員が就任し、予備代議員に新田評議員と津田評議員が就任した。大阪医科大学医師会に所属している大阪府医師会各種部会や委員会のメンバーは総会資料の通りで、新たに医学会評議員に森協会長と山本評議員が就任し、各委員積極的に活動している。

在阪5大学ならびに2行政医師会役員との懇談会が、11月26日(木)に「withコロナ時代で医師の働き方はどう変わるか—医師会と病院の取り組み」をテーマとして開催され、星賀府医理事と森協会長と浮村理事が参加し、浮村理事が発表する。

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会が毎月第3金曜日14時から開催されるが、森協会長が出席しにくい時間帯で出席できず、内容を伝達できず申し訳ない。佐野副理事長から、当医師会は大阪府医師会からの交付金で活動しているのだから出席する必要がある、との意見があった。

郡市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会が7月27日(月)に開催され、新田評議員が出席

した。大阪府医師会学術講演会は、感染症シリーズが10月29日(木)に開催され中野府医医学会運営委員が司会を務め、循環器シリーズが12月17日(木)に開催され星賀府医理事が「高齢者社会における循環器診療(特にチーム医療と人生会議)」について講演を行う。

大阪府医師会会員名簿が11月下旬に発刊される。それに伴い、7月に全会員に名簿への掲載に同意するかどうか文書で確認した。名簿は、隔年で発行される。

全国医師会勤務医部会連絡協議会総会が、10月24日(土)に、京都で開催された。

全国大学医師会連絡協議会を退会する。総会に出席する大学が少なく、年会費1万円の価値がないと判断した。

大阪医科大学附属病院連携病院長会総会は開催中止となった。

三島医療圏がん診療ネットワーク協議会に森協会長が出席する。詳細未定である。

高槻市医師会勤務医総会・研修会に、昨年に引き続き協力をする。詳細未定である。

### 3. 令和元年度会計報告・会計監査報告(瀧谷会計)

瀧谷会計より、項目ごとの金額が報告された。予算に比べて、収入の部では郡市区医師会交付金が予算より6万5千円減額され、支出の部では謝金が10万円増加した。

土手監事と麻田監事ともに会計報告に間違いがないことを認めたと報告があり、全会一致で承認された。

### 4. 令和2年度予算案(瀧谷会計)

瀧谷会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示があった。

コロナ禍で、北摂四医師会医学会総会が中止となったので分担金が無くなり、研修会等の出張が減ったので旅費交通費を減額した。単年度で見ると約170万円の赤字である。

今年度予算案は、全会一致で承認された。

### 5. 令和2年度学会等助成贈呈式

採択された8題について計75万円の目録を贈呈した。

以上